



先生の指導力向上を目的に、アクティブ・ラーニング（AL）について研修を行いました。講師の中島博司先生は茨城県の県立高校の校長時代からALの伝道師として活躍され、退職後も民間企業に籍を置きながら引き続きALを全国に広めていらっしゃいます。中島先生のお父様は隠岐島のご出身で本校の工業化学科の卒業生です。ご縁を感じます。

これからの学習はAL！

ALとは、これまで日本で行われてきた一方向的な知識伝達型の授業を聴くという受け身的な学習ではなく、書く・話す・発表するなど、他者との活動を交えた自ら行う学習のスタイルです。

具体的な取組の一例としてR80（アールエイティー）という手法の紹介がありました。R80は次のように80字以内で二つの文書を接続詞で結びつけるものです。接続詞には、順接（したがって、ゆえに、だから）、逆接（しかし、だが、ところが）、並列（また、ならびに、かつ）、対比（一方）、換言（つまり、すなわち）、理由説明（なぜなら）などがあります。

《R80の例》

自分の考えを文字で伝えるためには何度も見直すことが必要です。なぜなら、人によって言葉の受け止め方が異なるため、誰もが誤解しない表現をすることが大切だからです。（79字）



アクティブに研修中！

R80に取り組むと、思考力・判断力・表現力、論理力が育成されます。実際に取り入れて成果があったという学校の報告もあります。具体的な効果として次のような報告があります。①文章を書くことに抵抗がなくなる。②自分の考えを整理できるようになる。③表現力が高まる。④簡潔に話せるようになり、話し方が上手くなる。⑤プレゼン力・コミュニケーション力が高まる。

R80の活用は授業の振り返りだけでなく、部活動の日々の振り返りとしても、一日の振り返りとしても有効な取り組みであり、成果を感じているという報告があります。また、この取組は学校から始まりましたが、企業でも活用されるようになったことから、その有効性を評価できると考えます。

こんな実績のある取組なら、やらない理由はありません。さっそく、みなさんも始めてみませんか。ひょっとすると学年末考査で取り入れる科目があるかもしれませんね。

校長 松川 明義

【行事予定】2月8日(水)：スーパー工業士研修
10日(金)：特色入学者選抜合格発表
13日(月)：3年出校日
今週の大会等：スキー全国総体（山形） 3級技能検定(旋盤)



米工 HP